

葛工!!ピンチ



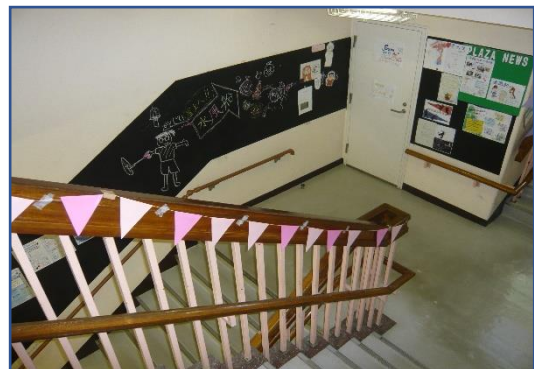
令和元年 8月 22 日 発行 NO. 5

★皆さまのスマホのディスプレイに、親指と人差し指を乗せ、二本の指で押し広げるように、画面の一部を拡大することを、ピンチアウト (Pinchout) と呼びます。そこで葛工の最近の話題やトリビアを、ピンチアウトするようにお伝えしたい、そんな思いで「葛工!!ピンチ」と名付けました。「葛工がピンチ (危機)」なわけではありませんから、勘違いなさいませぬよう、ご用心ご用心。

a pinch of esprit

「げんしけん」が行く!

「げんしけん」とは何ぞや? 最初この奇妙な名前を耳にしたとき、「原子力発電」か「原子力爆弾」か「原始時代」を研究する集まりだと、てっきり勘違いした。「げんしけん」の正式名称は「現代視覚文化研究部」。ゲームやアニメ、漫画やカードゲームを研究したり、創作活動をおこなう部活動だ。ふだんは校内で活動をおこなっているが、夏休み中の8月8日、学校すぐそばの「共育プラザ之江」でおこなわれた、中高生主催の「夏フェス」に積極参加してきた。



当日会場でつかまえた、ふたりの部員にインタビューした。★ 模擬店の責任者をつとめたA君「楽しい。小学生がパンケーキを食べる様子が、かわいくてかわいくて」。★ 対戦型ゲームコーナーの受け付けをしていたB君「自分たちと違う年齢のひとたちと、接することができて面白い」。会場には小学生のすがたが多かったが、お年寄りの来場者もちらほら見えた。当日は日中35度の暑い日だった。みなさまお疲れさまでした。



ところで「げんしけん」という、同じ名前の名作まんががあることを、ご存知だろうか？ こちらは大学が舞台になった青春ドラマだが、こちらの「げんしけん」は「現代視覚文化研究会」。大学のサークルの名前です。じつは一字微妙に異なるけれど、葛工の「げんしけん」は、まんがの「げんしけん」にちなんだ命名かもしれない。内容は中学生には、いささか早い。高校生でも、分かるかな？……という感じだから、ここではストーリーを詳しく紹介しない。

ただこの作者が、ちょっと気になる。**木尾士目(きおしもく)さん**です。この名前、憶えていますか？ どう見ても葛西工業高校の校舎が、モデルになっているとしか思えない「**端本工業高校**」が舞台の、かの「はしっこアンサンブル」の作者です。

まんがの「げんしけん」は、まんがにかぎらず、アニメやゲームを研究し、ときにコスプレなどアダルトな匂いも漂わせるサークルだ。さてここに**荻上千佳(おぎうえ・ちか)ちゃん**という漫画家を志す女子大生が登場する（もちろん「げんしけん」会員）。その千佳ちゃんが、大好きな笹原先輩（もちろん「げんしけん」会員）に、自分の作品を読んでもらい、感想を乞う場面がある。笹原先輩は、来年三月に大学を卒業し、漫画雑誌の編集者になる。その彼が述べた感想とは「**キャラクターへの愛に溢れてるよね**」。ああ、いい言葉だ。これは「はしっこアンサンブル」の登場人物たちにも、そのままあてはまる。だから「はしっこアンサンブル」を読まなきゃ！

また木尾さんは「げんしけん」の別のところで、こんなセリフを登場人物に言わせている。「**自分の描いたものが、誰かに影響を及ぼす、その責任は重い**」。木尾さんは、こんな覚悟を胸に秘め、作品を書いているようだ。やっぱり「はしっこア

ンサンプル」を読まなきゃ！ これを読む若いひとたちが、二十歳前後になったら「げんしけん」もぜひ読んでほしい。内容はこれ以上紹介しないが、木尾さん+関係者の許可を得て、「げんしけん」の絵を紹介する。線の芸術としか言いようのない、魅力的なキャラクターの数々。ペパーミント・カラーのハートで囲んだのが、千佳ちゃんと笹原先輩です。

